

スペースジャパンクラブ(15)

衛星通信開発のために汗をかく男たちに会いたい



サリー大学の Dr. Zhili Sunに聞く

「宇宙技術の進歩により、小型衛星には大きな可能性が開けてきました。地球観測、通信、GPSなどの分野で、多数の小型衛星を展開するメリットがあります。」

インタビュー/本誌編集委員 風神 裕

Dr. Zhili Sun : 英国サリー大学通信システム研究所 (CCSR) 研究リーダー。1982年中国南京大学修士課程終了後、英国ランカスター大学から博士号を授与。1989年から1993年までロンドン大学研究員。

欧州の衛星VoIP、ネットワーク、IPマルチキャスト等に関するプロジェクト主査。

サリー大学通信システム研究所 (CCSR) の研究リーダーとして、衛星ネットワーク、インターネット、データネットワーク、コンピュータ及びデータ網を教える。

インタビューのために貴重な時間をさいて頂きどうもありがとうございます。まず最初に、スペースジャパンレビュー誌の読者のために、あなたの組織と仕事の内容をお話し下さい。

Dr. Sun : 私はサリー大学通信システム研究所 (CCSR) の研究リーダーとして、衛星ネットワーク、インターネット、データネットワーク、コンピュータ及びデータ網を教えています。また、欧州の



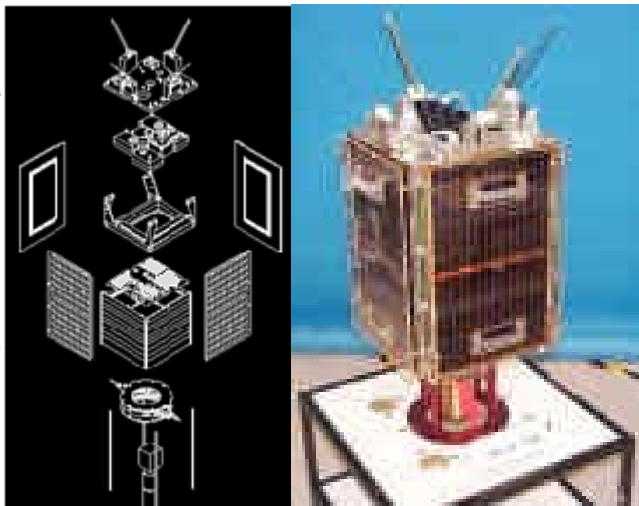
サリー大学宇宙研究所

衛星 VoIP、ネットワーキング、IP マルチキャスト等に関するプロジェクトの主査です。この分野で今までに 80 件の論文を書いています。CCSR は衛星及び移動通信、ネットワーキング、マルチメディア分野の研究を専門にしている最も大きな大学卒業生の為の研究センターです。

サリー大学には、CCSR のほかに、宇宙研究所と技術移転の為の会社「サリー衛星テクノロジーLtd」があります。ここで、小型衛星が作られています。

宇宙ビジネスが最近成長してきましたが、人々が実現を期待する小型衛星に対する需要をどのようにお考えでしょうか？

Dr. Sun : 宇宙技術の進歩により、小型衛星に大きな可能性が開けてきました。小型衛星を導入することにより、衛星部分のコストを減らすことができます。従って、地球観測、通信、GPS などの分野で、多数の小型衛星を展開するメリットがあります。これはスペースビジネスの成長分野に見られる最近の傾向です。



サリー大学の小型衛星

21 世紀における小型衛星ビジネスの方向性お聞かせ下さい。

Dr. Sun : 衛星 DVB、IP マルチキャスト、データやマルチメディアの広域配布、世界的な規模のネットワーク構築、非常事の通信サービス、及び、GPS です。これらの分野が 21 世紀では中心になると考えます。

小型衛星分野の革新はどのように行われるのでしょうか。どのような種類の技術が今後小型衛星のキーとなるのでしょうか。

Dr. Sun : 新しいサービスとアプリケーションが小型衛星の革新を推進します。大容量と低コストを備えた小型衛星によるネットワーク構築が主要なテクノロジーとなります。

最後に、日本の小型衛星分野の技術、及び、日本との間の今後の関係について、意見をお聞かせ下さい。

Dr. Sun : スペースビジネスは世界的なビジネスです。ヨーロッパでは、システム設計とアプリケーションの開拓が小型衛星開発の原動力となりました。日本は、末端や衛星ペイロードなどの電子技術分野が発達しています。宇宙産業の多くの分野で、互いに補完しあい、協業すること事が、スペースビジネスのより大きな発展に繋がるものと確信します。

本日のお話しどうも有り難う御座いました。